

## [047\_02/03] 経済学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4475407>

---

出版情報：経済学研究. 47 (2/3), 1982-04-10. 九州大学経済学会  
バージョン：  
権利関係：



還曆をお祝いして

木下悦二教授に捧げる



## 木下悦二教授略歴

- 1920年（大正9）12月 和歌山県海草郡内海町（現、海南市）に生まれる。
- 1937年（昭和13）4月 大阪商科大学予科に入学する。
- 1941年（昭和16）4月 同学部に入学する。
- 1946年（昭和21）9月 同学部を卒業する。
- 11月 大阪市経済研究所（大阪商科大学経済研究所）研究員嘱託となる。
- 1948年（昭和23）4月 同研究員になる
- 1953年（昭和28）4月 大阪市立大学経済研究所に改組，同助教授となる。
- 1963年（昭和38）7月 九州大学経済学部助教授となる。
- 1964年（昭和39）4月 同教授となる（世界経済論講座担当）。
- 1967年（昭和42）12月 経済学博士の学位を受く（論文「資本主義と外国貿易」）。
- 1968年（昭和43）7月 九州大学経済学部長を務める（1969年4月まで）。
- 1971年（昭和46）3月 文部省在外研究員として，EEC 研究のため，西独その他の欧州諸国に出張する（1972年3月まで 1カ年間）。
- 1974年（昭和49）7月 九州大学経済学部長を務める（1976年6月まで）。
- 1981年（昭和56）1月 第12期日本学術会議会員となる。

### 学 会 活 動

(1981年末現在)

国際経済学会常任理事

日本EC学会理事

九州経済学会理事

## 木下悦二教授 著書・論文目録

### 著 書

|           |   |             |
|-----------|---|-------------|
| 昭和32年11月  | 日本の石炭鉱業                                 | 日 本 評 論 新 社 |
| 昭和35年 4月  | 論争・国際価値論 (編著)                           | 弘 文 堂       |
| 昭和35年 9月  | 世界の貿易 (共著)                              | 三 一 書 房     |
| 昭和38年 1月  | 資本主義と外国貿易                               | 有 斐 閣       |
| 昭和43年～44年 | 講座・日本資本主義発達史論<br>I, II, III, IV, V (共編) | 日 本 評 論 社   |
| 昭和45年 4月  | 貿易論入門 (編著)                              | 有 斐 閣       |
| 昭和54年 5月  | 同 (新版)                                  | 有 斐 閣       |
| 昭和49年 4月  | 現代の世界経済 (編著)                            | 有 斐 閣       |
| 昭和53年 5月  | 現代世界経済論                                 | 新 評 論       |
| 昭和54年12月  | 国際経済の理論<br>——その発展と体系化のために——             | 有 斐 閣       |
| 昭和56年 2月  | 現代資本主義の世界体制<br>(現代資本主義分析 8)             | 岩 波 書 店     |

### 論 文

|                |                           |   |
|----------------|---------------------------|---|
| 昭和23年 1月       | 貿易問題の発展                   | 戦後日本経済の諸問題 (大阪商科大学経済研究所所報 第3輯)                  |
| 昭和23年 8月       | 外資問題について                  | 社会科学文献解説 大阪商科大学経済研究所 No. 2                      |
| 昭和24年 4月       | 貿易理論と外国市場問題               | 社会科学文献解説 No. 3                                  |
| 昭和24年 5月       | 労賃の国際的比較                  | 経済学雑誌 20巻 第4・5号                                 |
| 昭和24年10月       | 貿易理論・貿易問題                 | 社会科学文献解説 No. 4                                  |
| 昭和25年 2月       | 国際間不等価交換の法則について           | 社会科学文献解説 No. 5                                  |
| 昭和25年 3月       | 国際交換の諸法則について              | 経済評論 第5巻 第3号<br>(旧 巻 数)                         |
| 昭和26年 1月       | 国際価値論争批判                  | 社会科学文献解説 No. 7                                  |
| 昭和26年 3月       | 国際交換と競争の二法則               | 経済評論 第6巻 第3号<br>(旧 巻 数)                         |
| 昭和27年12月       | 国際的分業と国際間搾取について           | 経済学雑誌 第27巻 第6号                                  |
| 昭和28年 7月       | 国際価値論争の発展                 | 社会科学文献解説 No. 10                                 |
| 昭和28年12月       | 石炭流通過程における独占の実態           | 経済学雑誌 第29巻 第5・6号                                |
| 昭和30年 6月       | 中小炭鉱                      | 金持一郎・藤田敬三編『日本の中小企業』日本評論新社                       |
| 昭和30年 7月       | 戦後における炭鉱独占資本と中小炭鉱         | 『日本独占資本と中小産業』(大阪市立大学経済研究所所報 第8輯)<br>日 本 評 論 新 社 |
| 昭和31年 1月       | 最近における日本独占資本の対外市場政策       | 経 済 評 論 第5巻 第1号                                 |
| 昭和31年<br>9～10月 | 国際価値論争——その成果と問題—— (1) (2) | 世界経済評論 第29号, 第30号                               |

|          |  |                                      |
|----------|--|--------------------------------------|
| 昭和33年5月  | 「二つの世界市場論」についての若干の疑問                                   | 研究と資料(4)                             |
| 昭和33年5月  | 「二つの世界市場論」について   | 世界経済評論 第48号                          |
| 昭和33年7月  | 世界経済論  | 都留重人他編『経済学入門』<br>東京出版                |
| 昭和33年11月 | 貿易政策と貿易問題  | 内田穰吉他編『現代日本の経済と政治』第2巻 大月書店           |
| 昭和34年2月  | 「国際収支の壁」と日本経済の体質                                       | 経済評論 第8巻 第2号                         |
| 昭和34年5月  | 社会主義世界市場における価値形成<br>——東独の文献を中心として——                    | 研究と資料<br>(大阪市立大学経済研究所) (8)           |
| 昭和34年6月  | 戦後世界市場論の当面する問題点  | 世界経済年報 第11集<br>(世界経済研究所)             |
| 昭和35年1月  | 貿易理論の研究における最近の動向                                       | 経済評論 臨時増刊                            |
| 昭和35年3月  | 戦後の後進国貿易について   | 研究と資料(10)                            |
| 昭和35年6月  | 貿易自由化と市場構造   | 松井清編『貿易・為替の自由化』<br>三一書房              |
| 昭和35年7月  | 外国貿易と再生産論  | 経済研究(一橋大学)<br>第11巻 第3号               |
| 昭和35年11月 | 日本商社のインド綿花買付けの機構                                       | 松井清編『日印綿業交渉史』<br>アジア経済研究所            |
| 昭和36年6月  | 貿易問題におけるマルクスとエンゲルス                                     | 経済学雑誌 第44巻 第6号                       |
| 昭和36年8月  | ドイツ社会民主党の関税論争  | 経済学雑誌 第45巻 第2号                       |
| 昭和36年8月  | 高成長政策と貿易問題   | 経済評論 第10巻 第8号                        |
| 昭和36年11月 | 後進国貿易の停滞性をめぐって   | 東亜経済研究(山口大学)<br>第35巻 第3号             |
| 昭和36年11月 | マルクス経済学派   | 赤松要他監修『講座・国際経済』<br>第3巻 有斐閣           |
| 昭和37年1月  | ロシアにおけるマルクス主義と貿易問題                                     | 経済学雑誌 第46巻 第1号                       |
| 昭和37年2月  | 60年代における資本主義世界市場                                       | 世界経済評論 第6巻 第2号                       |
| 昭和37年5月  | 社会主義世界経済体制の成立と貿易問題                                     | 研究と資料(16)                            |
| 昭和37年5月  | 戦後世界市場論の問題点  | 経済理論学会年報                             |
| 昭和37年9月  | 植民地制度の崩壊と経済理論  | 思想 No. 459                           |
| 昭和38年2月  | 日本の高度成長と市場をめぐる諸問題                                      | 吉村正晴他編『現代帝国主義講座』<br>第2巻              |
| 昭和38年4月  | 合板工業の当面する諸問題<br>——外国貿易と中小企業——                          | 研究と資料(20)                            |
| 昭和39年5月  | 国際価値論  | 『資本論講座』第4巻<br>青木書店                   |
| 昭和39年8月  | 自由化をすすむ日本資本主義の座標                                       | 経済評論 第13巻 第8号                        |
| 昭和39年8月  | 社会主義世界市場における価値法則<br>——松井清教授に答えて——                      | 経済学研究(九州大学)<br>第30巻 第3号              |
| 昭和40年2月  | 共存の経済学とO. ランゲ  | 経済学研究 第30巻第5・6合併号<br>(高橋正雄教授還暦記念論文集) |
| 昭和40年9月  | 世界の動向と東西貿易   | 国際経済(国際経済学会編)<br>第16号                |
| 昭和40年10月 | 第一次世界大戦前におけるドイツの穀物関税<br>制度の性格について<br>——輸入証明書制度を中心にして—— | 経済学研究 第31巻第3・4合併号<br>(田中定教授還暦記念論文集)  |

|                    |   |  |
|--------------------|---|--|
| 昭和42年2月            | 現段階における資本輸出の若干の問題点                        | 経済学研究 第32巻 第5・6号                                   |
| 昭和42年6月            | マノイレスコの貿易理論の性格について                        | 九州大学経済学部<br>40周年記念経済学論文集                           |
| 昭和42年7月            | 「労賃の国民的相異」について<br>——シーニョアとケアリとマルクスと——     | 赤松要他編『現代世界経済と国際<br>経済理論』（名和統一教授還暦記<br>念論文集）日本評論社   |
| 昭和42年10月           | 国際通貨基金の性格                                 | 経済学研究 第33巻 第3・4号                                   |
| 昭和43年1月            | 戦後世界経済の問題点<br>——時期区分の問題によせて——             | 経済研究 第19巻 第1号                                      |
| 昭和43年2月            | 国際通貨協力についての覚書                             | 経済学研究 第33巻 第5・6号                                   |
| 昭和43年10月           | 資本主義の成立と外国貿易                              | 『講座・日本資本主義発達史論』<br>I 日本評論新社                        |
| 昭和45年5月            | 国際収支の変化と日本経済の新しい段階                        | 経済研究 第2巻 第2号                                       |
| 昭和46年1月            | 戦後世界経済の一視角                                | 九州大学・産業労働研究所報<br>第52・53号 合併号<br>(吉村正晴教授追悼論文集)      |
| 昭和46年10月           | 戦後世界経済の問題点                                | 経済理論学会年報 第8集                                       |
| 昭和46年11月<br>~47年3月 | EECの現状と展望 (1), (2), (3), (4), (5)         | 経済評論 第20巻 第11号, 第12号,<br>第21巻 第1号, 第2号, 第3号        |
| 昭和47年1月            | 国際通貨危機によせて                                | 九州経済統計月報   |
| 昭和48年3月            | 国際通貨・貿易制度と開発援助——試論——                      | 経済学研究 第38巻合併号<br>(副田満輝教授還暦記念論文集)                   |
| 昭和48年5月            | 国際価値論の若干の問題について                           | 小野一郎他編『世界経済と帝国<br>主義』（松井清教授還暦記念論<br>文集）有斐閣         |
| 昭和48年6月            | ECの共同フロート移行と国際通貨体制                        | 経済評論 第22巻 第6号                                      |
| 昭和48年10月           | 国際通貨制度と国際貿易制度                             | 国際経済 第24号  |
| 昭和49年3月            | 世界貨幣・外国為替・国際通貨 (I)                        | 経済学研究 第39巻合併号<br>(高木幸二郎教授還暦記念論文集)                  |
| 昭和50年3月            | 経済・通貨同盟計画の成立過程                            | 産業労働研究所報第64・65合併号<br>(九州大学・産業労働研究所<br>創立25周年記念論文集) |
| 昭和50年6月            | 国民経済と世界市場——「後半体制」研究の<br>現代的意義——           | 本間要一郎他編『『資本論』と現<br>代』有斐閣                           |
| 昭和50年12月           | 世界貨幣・外国為替・国際通貨 (II)                       | 経済学研究第40巻第4・5・6合併<br>号 (故正田誠一教授追悼論文集)              |
| 昭和50年12月           | 「経済学批判体系プラン」における「国家」<br>と国民経済             | 原田三郎編『資本主義と国家』<br>(原田三郎教授還暦記念論文集)<br>ミネルヴァ書房       |
| 昭和51年1月            | ドル体制と多国籍企業                                | 生川栄治編『現代の金融資本』<br>有斐閣                              |
| 昭和51年2月            | 現代資本主義と世界インフレーション<br>——インフレ増幅機構の形成とその性格—— | 経済評論 第25巻 第2号                                      |
| 昭和51年4月            | 再生産論と国際収支 (I)<br>——国際収支論序説——              | 経済学研究 第41巻 第4号                                     |
| 昭和51年5月            | 再生産論と国際収支 (II)<br>——国際収支論序説——             | 経済学研究 第41巻 第5号                                     |
| 昭和51年9月            | 「資本の文明化作用」について                            | 商学論纂 (中央大学)<br>第18巻 第2・3号<br>(故山田隆士教授追悼論文集)        |

|          |                                      |   |
|----------|--------------------------------------|---|
| 昭和52年5月  | 「国際通貨」について<br>——世界貨幣・外国為替・国際通貨(Ⅲ)——  | 経済学研究 第42巻 合併号<br>(経済学部50周年記念論文集)       |
| 昭和52年7月  | 国際価値論争                               | 佐藤金三郎他編 『資本論を学ぶ』<br>Ⅱ 有 斐 閣             |
| 昭和52年9月  | 再生産論と外国貿易                            | 佐藤金三郎他編 『資本論を学ぶ』<br>Ⅲ 有 斐 閣             |
| 昭和52年12月 | 現代資本主義と1974・75年恐慌                    | 経済学研究 第43巻 第5号                          |
| 昭和53年7月  | 日本・ECの貿易摩擦の意味するもの                    | 経済評論 第27巻 第7号                           |
| 昭和53年11月 | 国際通貨基金の新しい役割<br>——コンディショナリティを中心として—— | 川合一郎編『現代信用論』(川合一郎教授還暦記念論文集)(下)<br>有 斐 閣 |
| 昭和54年3月  | 日本貿易の構造変化と当面する問題点                    | 産業労働研究所報 第73号<br>(終 刊 号)                |
| 昭和54年3月  | 為替相場と国際収支                            | 経済学研究 第44巻 4・5・6号<br>(岩元和秋教授還暦記念論文集)    |
| 昭和54年4月  | 「貴金属と為替相場」についての覚書                    | 経済学研究 第45巻 第1号                          |
| 昭和55年3月  | 低開発国の経済発展の現局面とその性格                   | 経済学研究 第45巻 第4・5・6号<br>(都留大治郎教授還暦記念論文集)  |
| 昭和55年6月  | 資本活動の国際化と現代資本主義                      | 経済学研究 第46巻 第1・2号<br>(中楯 興教授還暦記念論文集)     |
| 昭和56年10月 | 外国為替と国際通貨(Ⅰ)<br>——『国際経済の理論』補遺——      | 経済学研究 第46巻 第4・5号<br>(湯村武人教授還暦記念論文集)     |
| 昭和57年1月  | 外国為替と国際通貨(Ⅱ)                         | 経済学研究 第46巻 第6号                          |

書 評

|          |                                    |                  |
|----------|------------------------------------|------------------|
| 昭和33年3月  | 行沢健三著『国際経済学序説』                     | 経済評論 第7巻 第3号     |
| 昭和34年5月  | グンター・コールマイ著『社会主義世界経済体制発展の諸問題』      | 経済学雑誌 第40巻 第5号   |
| 昭和35年1月  | シュミット・ドムダイ著<br>『国家独占資本主義と資本主義世界市場』 | 国際経済 第11号        |
| 昭和40年9月  | 講座『現代』——南北問題——                     | 思想 No. 495       |
| 昭和42年10月 | 森田桐郎著『南北問題』                        | 経済評論 第16巻 第10号   |
| 昭和45年10月 | 古川 哲著『危機における資本主義の構造と産業循環』          | 経済研究 第21巻 第4号    |
| 昭和52年2月  | 柳田 侃著『資本輸出論と南北問題』                  | 世界経済評論 第21巻 第2号  |
| 昭和53年1月  | 片山謙二編著『ECの発展と欧州統合』                 | 世界経済評論 第22巻 第1号  |
| 昭和54年10月 | 石崎昭彦著『新経済ナショナリズム』                  | 世界経済評論 第23巻 第10号 |

辞典項目

|         |   |                                  |
|---------|---|----------------------------------|
| 昭和26年6月 | 関税, 関税政策, 国営貿易, 自由貿易, ダンピング, 賠償問題, 保護貿易制度 | 大阪市立大学経済研究所編<br>『経済学小辞典』岩波書店     |
| 昭和31年4月 | 日本の貿易(戦後)                                 | 大阪市立大学経済研究所編<br>『経済学小辞典』増補版 岩波書店 |
| 昭和40年9月 | 賠償問題, 国際分業, 貿易(ドイツ), 国連貿易開発会議(第1版のみ)      | 大阪市立大学経済研究所編<br>『経済学辞典』岩波書店      |
| 昭和54年6月 | 現代資本主義(名和統一項の補正)                          | 大阪市立大学経済研究所編<br>『経済学辞典』第2版 岩波書店  |

|          |                                 |                             |
|----------|---------------------------------|-----------------------------|
| 昭和29年6月  | 国際価値論                           | 『経済学事典』 平凡社                 |
| 昭和36年4月  | ダンピング                           | 『工業大辞典』 第11巻 平凡社            |
| 昭和36年8月  | 東西貿易                            | 同 第13巻                      |
| 昭和36年10月 | 日中貿易                            | 同 第14巻                      |
| 昭和37年12月 | 市場、技術導入、貿易自由化、資本輸出              | 『石油化学辞典』<br>ケミカルマーケティングセンター |
| 昭和44年4月  | 国際分業、国際貿易機構                     | 『社会科学大事典』 第7巻<br>鹿島研究所出版会   |
| 昭和44年11月 | 世界市場                            | 同 第11巻                      |
| 昭和45年8月  | ハバナ憲章                           | 同 第15巻                      |
| 昭和45年10月 | ブレトン・ウッズ協定                      | 同 第16巻                      |
| 昭和45年12月 | ホワイト案                           | 同 第17巻                      |
| 昭和46年6月  | 労賃の国民的相異                        | 『資本論辞典』 青木書店                |
| 昭和51年11月 | 国際価値論の内容と意義、比較生産費説、<br>労賃の国民的差異 | 種瀬茂他編『マルクス経済学の基礎知識』 有斐閣     |

### 調査報告

|         |                                       |             |
|---------|---------------------------------------|-------------|
| 昭和23年7月 | 『大阪におけるメリヤス工業の生産形態』<br>第3章            | 大阪商科経済研究所   |
| 昭和26年5月 | 『泉州の綿織物業』 第1篇 第1～3章                   | 大阪市立大学経済研究所 |
| 昭和29年7月 | 『大阪における内職と日雇の実態』 第一部                  | 大阪市立大学経済研究所 |
| 昭和29年3月 | 『中小炭鉱における石炭流過程』<br>(九州地方中小炭鉱調査、第1集)   | 九州経済調査協会    |
| 昭和30年2月 | 『中小炭鉱における経営の諸問題』<br>(九州地方中小炭鉱調査、第2集)  | 九州経済調査協会    |
| 昭和31年3月 | 『揚地市場における中小炭の流過程』<br>(九州地方中小炭鉱調査、第3集) | 九州経済調査協会    |
| 昭和37年3月 | 『新貨物駅建設にともなう貨物流動調査報告書(概要)』            | 大阪府土木部計画課   |
| 昭和38年3月 | 『玩具卸売業の実態』                            | 大阪府立商工経済研究所 |
| 昭和56年3月 | 『沖縄観光関連産業の振興方向』 IV                    | 九州経済調査協会    |
| 昭和56年5月 | 『萩港(貿易港)の将来予測調査報告書』<br>結論             | 九州経済調査協会    |

### その他

|          |                             |                |
|----------|-----------------------------|----------------|
| 昭和26年9月  | 国際価値論の一論点(シンポジウム)           | 国際経済 第2号       |
| 昭和27年5月  | 古典派貿易理論の研究(シンポジウム)          | 国際経済 第3号       |
| 昭和28年9月  | 内職の実状と救済政策の矛盾               | 労働経済旬報 No. 202 |
| 昭和29年2月  | 炭鉱の労働災害と保安<br>——保安遵法斗争の本質—— | 労働経済旬報 No. 217 |
| 昭和29年6月  | 恐慌の深化と炭鉱独占資本                | 月刊炭労 第53号      |
| 昭和29年11月 | 石炭産業の危機とその克服方向              | 九州産労資料月報 第64号  |
| 昭和30年1月  | 中小炭鉱労働者の斗いの方向について           | 月刊炭労 第59号      |
| 昭和32年11月 | 流通面よりみた最近の石炭産業              | 旬刊石炭通信 No. 560 |

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| 昭和35年1月       | 石炭問題についての私の視角  | 現代日本産業講座月報 岩波書店                              |
| 昭和35年1月       | 高度成長政策と市場問題  | 神戸大学新聞 1月23日号                                |
| 昭和35年9月       | 貿易自由化の最近の問題点<br>——「大綱」の発表によせて——                        | 月刊さんいち 第3巻 第9号<br>三 一 書 房                    |
| 昭和38年<br>5～7月 | 外国貿易をめぐる諸問題——小著『資本主義<br>と外国貿易』の出版によせて——(1), (2), (3)   | 書齋の窓 No. 111, No. 112,<br>No. 113 有 斐 閣      |
| 昭和41年3月       | 国際経済研究の理論的体系化に向って<br>(シンポジウム)                          | 世界経済評論 第10巻 第3号                              |
| 昭和51年1月       | 「世界経済の危機」をめぐる  | 書齋の窓 No. 249 有斐閣                             |
| 昭和52年4月       | 日本資本主義は弱い環か (シンポジウム・世<br>界市場と日本主義)                     | 世界経済評論 第21巻 第4号                              |
| 昭和53年4月       | 円高は国難か   | 朝日新聞4月22日夕刊文化欄                               |
| 昭和53年9月       | 名和統一先生と国際経済論   | 現代の理論 No. 168                                |
| 昭和53年11月      | 名和統一先生を悼む  | 世界経済評論 第22巻 第11号                             |
| 昭和54年6月       | 名和先生と国際価値論   | 狭間源三他編『真理と激情——名<br>和統一, 学問と人——』              |
| 昭和55年1月       | 世界経済の全体像——1980年代への展望<br>——第38回国際経済学会全国大会への報告<br>を聴いて—— | 世界経済評論 第24巻 第1号                              |
| 昭和56年5月       | 松井先生との「論争」のこと  | 島 恭彦他編 『逍遥—松井清・<br>その軌跡—』                    |
| 昭和56年3月       | 二枚の履歴書と山六  | 『濁流を悠々と——山田六左衛門<br>とその時代——』 山 六 会            |
| 昭和56年6月       | 私にとっての藤田先生   | 『藤田敬三先生の思い出——藤田<br>敬三先生の米寿をお祝いして——』<br>経 政 会 |
| 昭和57年2月       | 世界の中の日本経済  | 『日本人——その思想と行動——』<br>(九州大学公開講座・3)<br>九州大学出版会  |